

第3回 西脇市子ども・子育て会議 議事録

日時	平成26年3月20日（木） 13時30分～
場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 3階ホール
参加者	竹内会長 小崎委員 藤田委員 武部委員 小澤委員 杉本委員 伊達委員 神戸委員 村上委員 田畑委員 古家委員 頃安委員 足立委員 富永委員 丸山委員 安田委員 欠席委員：勝岡委員 事務局： 田中福祉生活部長、清水児童福祉課長 早崎児童福祉課主幹 小西教育部長、東学校教育課長 運営支援：ジャパン総研 宮内 菅原
議 事	(1) 量の見込みについて (2) 次世代育成支援行動計画内部評価の検証について (3) 西脇市子ども・子育て会議の部会設置について (4) その他
資 料	・ 会議次第 ・ 子ども・子育て支援事業の見込み量算出について<資料1> ・ 西脇市将来人口推計<資料1-1> ・ 次世代育成支援対策推進行動計画（現行計画）の 継承イメージ<資料2> ・ 西脇市子ども・子育て会議の部会設置（案）について<資料3>

1. 開会

2. 議事

(1) 量の見込み報告	
事務局	●資料1をもとに説明
会長	何かご意見はあるか。特にないようであれば資料2にうつる。
(2) 次世代育成支援行動計画内部評価の検証について	
事務局	●資料2をもとに説明
会長	次世代育成支援行動計画について説明があったが質問は？
委員	<p>2点ほど教えていただきたいことがある。</p> <p>西脇子ども未来プランⅡを見ていると、45ページに、「相談機関などを地域にバランス良く配置する」とあるが、茜が丘にできて一本化していくという将来像との兼ね合いはどうか。説明いただきたい。</p> <p>2点目は、資料2の8ページ、次代の親の育成のところ、男女共同参画セミナーが開かれているとあるが、「男性は仕事のために講演会に参加するのが難しい」という表現は、男女共同参画の視点からみても、そぐわないと思う。「働いている人は」という表現にしてほしい。</p>
事務局	<p>平成27年秋に茜が丘にオープンする子育て総合支援センターについては、「そこに行けばほとんどのことが解決する」ようにしたいと思っている。また、市役所での相談体制は今までどおり設けておく。</p> <p>また、男女共同参画セミナーの表現については、「働いている人は」という意味で捉えていただきたいと思っている。</p> <p>男女共同参画セミナーについても、茜が丘にできる男女共同参画センターで実施していきたいと思っている。</p>
委員	<p>2点お尋ねしたい。</p> <p>5ページには各健診の受診状況が記載されており、非常に数値が高くなっているが、虐待対応はどうなっているのか。健診を受けていない数パーセントの人たちは虐待の可能性が高くなっているということがよく言われているのだが、健診を受けてない人へのフォローや関わりはどうなっているのかをお尋ねしたい。</p> <p>また、事業の今後の方向性として「継続」と書いているものが多いが、数値目標がないと漠然としてしまうと思う。今回の子ども・子育て支援事業計画では数値目標を設定される予定があるのか。</p>

事務局	<p>乳児家庭全戸訪問事業というのがあり、実施率は 99.7%となっている。赤ちゃんが生まれたとき、保健師が各戸を訪問するという事業である。子どもと母親の状況をチェックすることを目的としているが、虐待のリスクがないかをチェックをする機会にもなっている。その結果を踏まえ、健診に来られない方に関しては、見守りが必要な家庭の可能性があると、児童福祉課の家庭児童相談員とも連携をとり、何かの関わりは持っている状態である。</p> <p>数値目標は、次世代後期計画では設けていない。今回の計画では設けることを検討する。</p>
会長	乳児家庭全戸訪問事業は社協が委託で行っているのか。
委員	<p>社協では新生児のいる家庭にお祝いの品を送っている。ここにある全戸訪問事業とは別の事業である。</p> <p>続けて3点、意見がある。</p> <p>西脇市は同居も多いと思うが、そうでない場合、共働きをしていて誰にも預けられなくて大変、という状況はよくあると思う。計画では、近所のつながりが薄くなってしまっていることにも触れてもらえるとよい。</p> <p>3 ページには、各保育事業の実施が記載されているが、平成 24 年度児童数として学童保育のところに書いてあるのは、幼稚園生と小学生を含めた数字なのか。それをしっかりと記載した方がよい。</p> <p>特別保育や延長保育の推進と幼稚園・保育園・認定こども園の推進のバランスを教えて欲しい。延長保育を進めると幼稚園の預かり保育をなくすことができるのでは。</p>
事務局	平成 27 年度以降は、幼稚園では預かり保育は実施できないことになっているため、段階的に廃止していかなければいけない。ただ、幼稚園に通っているお子さんでも、突発的な用事に対応できるように、一時預かり保育は整備していくことになっている。
委員	幼稚園を終えてから保育園で預かってもらうことができるようにするなど、受け皿を考えていく必要があるのでは。
事務局	日常的に預かり保育が必要な子どもは、保育所に行っていただくことになる。
委員	そのことをしっかりと保護者に伝えた方がよいのでは。
事務局	そう思っている。また、保護者が働いていても幼稚園教育を受けられるように、国は認定こども園を打ち出している。

会長	西脇保育所は平成 26 年度から認定こども園としてスタートするということで話が出ている。
委員	幼稚園の預かり保育については教育委員会の方にコメントをいただきたい。
事務局	幼稚園については、現在西脇・重春・日野で預かり保育を実施しており、6割くらいの子ども達が14時～18時半まで預かり保育を利用している。 残り5園の併設園では、学童保育の中で幼稚園児を預かっている。
委員	平成 26, 27 年度以降のことについてコメント頂きたい。
事務局	平成 26 年度は預かり保育を、現状のまま残していきたいと思っている。平成 27 年度以降は、一時的な預かりしか認められないということがあるので、検討していきたいと考えている。
会長	他に何かあるか。ないようであれば3番目の議事に入る。
(3) 西脇市子ども・子育て会議の部会設置について	
事務局	●資料3に基づき説明
会長	ご意見はあるだろうか。
事務局	教育・保育部会については、西脇市として市内全域にどのように教育・保育を提供していくのか、また計画の基本理念や施策の展開について検討をしていただくような部会となる。 また、教育・保育の接続の方向性等についても検討していただけたらと思っている。
会長	子ども・子育て会議の下にこの2つの部会ができるということか。
事務局	はい。
会長	基準等検討部会は給付にかかわる確認基準ということだが具体的にはどういうことか。
事務局	西脇市では事業所内保育が2箇所で行われている。現在は、認可されている保育施設であれば国から費用補助が出ているが、事業所内保育を実施している事業者は、保育に関わる費用を全て賄っている。新しい制度では、事業所であっても、基準を満たしていれば、給付を行うことになる。その基準ということになる。
委員	部会は必要だと思うが、部会で話し合う内容が分からないとメンバーも決まらないのではないかと。 市の財政事情に大きく関わってくる保育の必要性の基準を委

	<p>員が決めてしまってよいのか。地域型保育事業の運営に対する基準を運営者以外の人が決めてしまってよいのか。</p> <p>カリキュラムの話をするのであれば現場の先生が必要だろうし、運営の話ならば運営者が必要だろう。</p> <p>部会の中での検討内容が盛りだくさんすぎるように思う。カリキュラムなのか幼保一体化なのか、それがはっきりしないと、メンバー構成があやふやになってしまう。そのあたりが見えないので、部会の設置には賛成しがたいところがある。</p>
事務局	<p>学童であれば、現在重春なら 70 人いる。それを、今後 1 クラス何人とか、指導員の数とか、そういったことを決めていく際に基準が必要となる。</p> <p>〇〇委員は尼崎市の部会に入っておられるので、細かい説明をしていただけるとありがたい。</p>
委員	<p>基準等検討会についてお話をさせていただく。おっしゃるとおり、内容は盛りだくさんである。</p> <p>基準は、条例の設定をしていくためにも必要になる。しかし条例の細かいところまで委員がすべて決めるというのは不可能なので、あくまでも諮問という位置づけになると思う。</p> <p>国から確認の基準や方向性が示されるので、西脇市の現状を踏まえて、大切にしなければいけないところ、外してはいけない視点について意見を挙げてもらう場として部会があるのだと思う。また、あくまでも本会議の下にあることになるので、その内容は本会議に出して更に検討いただくことになるだろうし、細かな部分は行政に任せればよいと思う。</p>
委員	<p>〇〇委員の説明はわかったが事務局の説明は。</p>
委員	<p>平成 27 年度から新たに制度が始まっていくにあたり、平成 26 年度中に現場で出てくる問題点や悩みを相談できる部会と考えてよいのか。</p> <p>また、現在、西脇市の幼稚園は教育委員会の管轄だが、今後も同じカリキュラムで教育が受けられるように検討がすすめられていくのだろうか、そしてその教育については 0 歳から中学生まで、一貫して考えていく、という理解でよいだろうか。</p>
事務局	<p>カリキュラムを具体的にということになると現場の先生に集まっていただく必要があると思う。</p> <p>部会では大きな枠組みの中で教育・保育の今後の望ましい方向性を検討できるようにしたい。</p>

	教育委員会では、幼・小・中の連携についても考えていきたいと思っている。子ども・子育ての支援事業計画の基本的理念や施策の展開につなげていければと思っている。
会長	教育委員会としてはそれでよいのか。部会を立ち上げるということでご了解いただけるだろうか。 賛成の方、挙手いただきたい。
●挙手多数	
(4) その他	
事務局	5月末から6月上旬で、次回の会議を予定している。計画の骨子案を見せられたらと思う。日程が決まり次第またご報告する。
会長	以上で議事は終わったがご意見があれば。
委員	資料1の話になるが、タイプC' とタイプE' は0～2歳の場合は保育が利用できないということか。新たに保育の短時間認定というのが出来たと思うが…
事務局	確認する。西脇市としてどうするかというのは出ていないので、そのあたりも決めていきたいと思う。
委員	部会は、恣意的にメンバーを選んでしまったら、問題が出てきてしまうのではないだろうか。傍聴希望があればできるのだろうか。規模についても教えて欲しい。
事務局	傍聴については、現在は考えていない。規模は5人以内をそれぞれ考えている。
会長	非常に人選が難しいと思うが、ふさわしい方を決めていきたいと思う。
委員	この一年間、学校代表として、日野地区をイメージしながら議論に参加しているが、このスピード感で大丈夫かな、と思ってしまう。平成27年度から、子育てをする保護者が西脇市で安心して預けたいという思いになるだろうか。ハコものも含めて、このスピード感で間に合うのかというのが素朴な疑問だ。
会長	他に質問は？ ないようなので、これで第3回西脇市子ども・子育て会議を終了させていただく。ありがとうございました。

3. 閉会